板橋区立赤塚第二中学校　学校だより　＜第３号＞

教育目標「立志・鍛錬・協調」

芙　蓉

令和５年６月２１日
校長　木村　知広
〒175-0094
板橋区成増 3-18-1
TEL (3939)0247

苦手なこと

校長　木村知広

私たちは、一人一人の顔が違うように、一人一人がもっている能力も違います。そのため、どの人も苦手としていることをいくつかもっていますし、人それぞれ苦手としていることはみんな違います。

そこで、この苦手としていることを私たちはどのように捉え、どのように向き合うことが大切なのでしょうか。

世界的なピアニストである辻井伸行さんは、「小眼球症」という障害をもち、生まれた時から目が全く見えませんでした。しかし、辻井さんの母は、音楽に対する好奇心を示す我が子の才能を伸ばしてあげたいという想いでピアノを習わせました。辻井さんは、全盲なので、当然ながら楽譜を見て演奏することができませんので、耳で聞いた音を頼りに演奏され、周囲が驚くほど上達していきました。そして、プロを目指す覚悟を決めた辻井さんは、川上昌裕先生に師事し、国際的なコンクールを目指すことになります。川上先生は、右手・左手それぞれ片方ずつ演奏した音をカセットテープに録音する手段を思いつき、５分の楽曲を数時間かけて作成しながら耳で読む楽譜を作成し、伸行さんと一緒に練習したそうです。こうして辻井さん本人の努力はもちろん、川上先生等の全力の支援があり、国際ピアノコンクールの舞台に上がることができました。その後も、コンクールの悔しい思いや様々な困難を乗り越え、盲目ということは関係なく、純粋にピアノの実力だけで「ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール」において、日本人として史上初となる優勝を果たしました。そして、この優勝をきっかけに、海外での活躍の場をさらに増やしていき、現在に至っています。

辻井伸行さんの演奏を下記のサイトからご覧ください。
Nobuyuki Tsujii Official Channel　（https://www.youtube.com/channel/UCGDdU23g7xjolfoq486JOyQ）

皆さん、この辻井伸行さんの生い立ちを読んでどのような感想をもちましたか。目が見えないという苦手を見事に乗り越え、自らの目標であったプロへの道を切り拓くことができた辻井さんの生き様は、私たちに希望と勇気を与えてくれるものではないでしょうか。

私たちも苦手なことがあります。だからその苦手なことを理由に、何かを諦めたり、逃げたりすることはあるかと思います。しかし、もしかしたら辻井さんのように、強い意志と、様々な工夫、そして絶え間ない努力で苦手を乗り越えることができるかもしれません。ですから、一度自分の苦手なことと向き合って、どうしたら苦手を乗り越え、自分の希望を叶えることができるか、真剣に考える機会をもってみてください。そして、その方法が浮かばないときは、ぜひ先生や保護者の方々に相談してください。私たちは、皆さんの可能性を信じ、支えたいと考えていますから。

さらに、もう一つ苦手について考えてもらいたいことがあります。それは、人との接し方です。当たり前のことですが、苦手なことはみんながもっているはずです。この当たり前のことを私たちは、忘れてはいけません。上のお話では、目が見えないという「見ることが苦手」な辻井さんのことを「ダメな人」と捉えるのではなく、母も川上先生も「苦手なことがある」と違いを認めた上で、プロを目指す辻井さんを支えていきました。このように、一人一人苦手なことを抱えていることは当たり前のことなのだから、その苦手なことを揶揄したり、苦手なことがあるからといってダメだと捉えるのではなく、違いを認めた上で、みんなで支え合って生活していくことが大切であると考えます。みんな違ってみんないいのです。特に学校では、多くの人が生活しているのですから、人の苦手なことが目につくこともあるかもしれませんが、そのことばかりに着目するのではなく、違いを認め、支え合っていってください。そして、安心安全で、さらに過ごしやすい赤塚第二中学校をつくっていきましょう。

令和５年度が始まるにあたり、全校生徒の皆さんに大切にしてほしいこと（学校だより第１号より）

①理想の自分の姿をしっかり見据えた上で、その実現に向けて自ら学び・考え・判断し・行動すること
②理想とする自分の姿に近づけたかどうかを常に振り返り、自分の弱さを克服しながら、ねばり強く挑戦しつづけること
③一人一人の個性などの違いを認める心と温かい思いやりの心をもって人と接すること
④自分を支えてくれるすべての人々に感謝の心をもって、日々生活すること

CS（コミュニティ・スクール）委員会

５月２５日に第１回CS（コミュニティ・スクール）委員会を開催しました。委員長は昨年度に引き続き元PTA会長である横田和也様にお願いし、委員には右の方々にお願いいたしました。

今回は、令和５年度の学校経営計画及び今後の学校教育の動向等をお伝えした上で、「コロナ後の学校に期待すること」について熟議を行いました。特に、コロナ禍で制限されてきた他の人とコミュニケーションを図る活動や地域と連携した活動等を望む声を受けて、教育活動の創意工夫等について意見交換を行いました。今後も様々な熟議を重ね、CS委員の皆様、地域の皆様とともに学校運営を推進していきます。

コミュニティ・スクール委員名（敬称略）	
	元ＰＴＡ会長
	成増第一町会長
	本校元校長、保護司
	主任児童委員・学校支援コーディネーター代表
	前ＰＴＡ会長
	元PTA会長、地域協力団体
	成増小学校PTA会長
	PTA会長
	成増地域センター所長
	なります児童館長
	成増ヶ丘小学校長
	成増小学校長

学校行事

６月は、本校の伝統である『集団美』を意識した学校行事である運動会と８年生鎌倉校外学習を実施しました。実行委員を中心に、意識を高くもって取り組む姿がとても立派でした。今回の学校行事での成果と課題を踏まえて、各学年・学級においては、一人一人がさらに輝く『集団美』を創りあげて欲しいと願っています。皆さんの頑張りを期待しています。

なお、本校ホームページの赤二中日記では、学校行事の様子を公開しています。下のQRコードもしくはURL（ https://www.ita.ed.jp/swas/index.php?id=1320142&frame=weblog ）からご確認ください。

赤二中日記

生徒の活躍

第74回東京都中学校地域別陸上競技大会

女子西部　低学年４×１００ｍ　第４位
女子西部　２・３年８００ｍ　第６位
男子西部　共　通　砲　丸　投　第６位

第69回板橋陸上競技選手権大会

中学女子２年１００ｍ　第２位
中学女子砲丸投　第２位　第３位
中学女子走高跳　第３位